



# はまこう通信

第42号  
令和4年3月

株式会社浜工務店 電話：079-424-3730 F A X：079-424-3446

■■■この「はまこう通信」は、私及び浜工務店とご縁のあった方に差し上げている個人通信です■■■

## ◆3月11日◆

こんにちは。株式会社浜工務店の濱です。はまこう通信第42号をお送りいたします。

3月11日は東日本大震災から11年・・・11年前の当日は姫路市にて外構工事を施工していました。記録を確認すると兵庫県の震度は3だったようですが外にいたので揺れには気付かず、休憩中、車内のラジオでなんか大変なことが起きたようだと思われました。大学時代に発生した阪神・淡路大震災も大惨事でしたが、これまでの大地震とは全く違ったのが津波でした。その映像を見た時は衝撃的でした。とてつもない破壊力で建築物・構造物がいとも簡単に流される光景は忘れられない、いや忘れてはいけません。阪神・淡路大震災からは27年、神戸の街を自分の足で歩き、自分の目で見た、その時の記憶は確かに残っています。ただ残念ながら月日が経ち記憶が薄れていき、危機感が薄れてきているように思います。過去30年間で人的被害が生じた主な巨大地震は阪神・淡路大震災（1995年・M7.3）、東日本大震災（2011年・M9.0）の他に、芸予自身（2001年・M6.7）、新潟県中越地震（2004年・M6.8）、福岡県西方沖自身（2005年・M7.0）、能登半島地震（2007年・M6.9）、熊本地震（2016年・M7.3）、北海道胆振東部地震（2018年・M6.7）と書き上げてみると多いですね。私たちが住む播磨地方は、ほんと気候的にも温暖で、自然災害も少ないという土地柄なので正直危機感が薄いように思います。いつどこで起こるか分からない自然災害に備えておかないといけませんね。話はガラッと変わりますが、平和な日本に住んでいる私たちにとっては信じがたい“戦争”がウクライナ⇄ロシアで発生してしまいました。昨日まで平穏な生活が次の日には悪夢となる…そんな状況が日本⇄ロシアだとすると本当に恐ろしいです。一刻も早く停戦そして戦争が終わることを祈ります。”NO WAR” ウクライナに平和を！



## ◆発行者から一言◆

次男の学年だよりに校訓についての記事がありました。私が同じ中学校に通っていた頃には聞いたことがないと思い、すぐに卒業アルバムを確認しましたが、やはり校訓らしき物は載っていません。いつできたのだろうか？文武両道という言葉は記憶にあるのですが、それはさておき・・・「以屈為伸」それを自分達の身の丈にあった中学生らしい解釈をしていました。「高くジャンプするためにしっかりと足を踏ん張り、膝を曲げパワーを溜める、そうすることによって自己の心身を鍛え、生きる為の力が必ずつくものである」と書かれていました。凄いい解釈だと感心しました。

## 【発行者プロフィール】

株式会社浜工務店  
専務取締役 濱 宏持（はま こうじ）  
生年月日：昭和49年2月25日生まれ  
出身地：兵庫県加古川市  
趣味：サッカー、フットサル

経歴：市立浜の宮小学校→浜の宮中学校  
→県立加古川西高校→摂南大学  
(株)ハウスプロメイン→浜工務店  
打ち込んできたもの：サッカー  
家族構成：妻、息子二人  
夢：ワールドカップ決勝戦を観戦

